



CONTENTS

- 活動報告・各種会議議事録
- 第40回記念大会報告
- 会員異動
- 「技術士」資格取得のお勧め
- 学会関連カレンダー
- 学会主催会議等の詳細
- 日本農薬学会第41回大会における広告、展示およびランチョンセミナー募集のご案内

平成26年度第6回常任評議員会議事録

日 時：平成27年3月17日(土) 12:30～14:30

場 所：玉川学園 視聴覚センター 106

出席者：会長、副会長、常任評議員、第40回記念大会組織委員長 計14名

議 事：

I. 平成26年度第5回常任評議員会議事録について確認した。

II. 経過報告および議事

1. 大会関係

- ・第40回東京大会の準備状況について大会実行委員長から報告があった。
- ・第41回評議員会資料および進行について確認した。
- ・第40回通常総会資料および進行について確認した。
- ・設立40周年記念式典・記念講演会・記念祝賀会の進行について確認した。
- ・第41回大会について確認した。

2. 財務関係

- ・平成26年度収支について総会資料の内容を確認した。
- ・平成26年度会計の監査が平成27年2月17日実施され、監査の結果、事業報告および決算が的確であった旨報告があった。
- ・平成27年度予算案について総会資料の内容を確認した。

3. 編集委員会

- ・農薬誌第40巻1号、JPS第40巻1号の発刊について報告があった。
- ・早期公開とHP掲載の今後の連携について説明があった。

4. 環境委員会

- ・農薬の理解推進WGの活動状況について報告があった。
- ・講師派遣について説明があった。

5. 将来計画委員会

- ・活動状況について説明があった。

6. ホームページ委員会

- ・活動状況について報告があった。
- ・専門委員会、学術小集会等に関する資料等のアーカイブ化について提案があった。

7. 学会賞受賞者選考委員会

- ・農学進歩賞候補者の選考方法について議論された。

8. 技術士育成推進委員会

- ・平成26年度の活動について報告があった。

9. 日本昆虫科学連合

- ・8月1日にシンポジウムが予定されている。

10. 日本植物保護科学連合

- ・平成27年度からは米山新会長、三芳新副会長が担当することが決まった。

11. 農学会関連報告

- ・日本農学会平成27年度第1回運営委員会の報告があった。
- ・平成27年度は、日本農学会大会(4月5日)、日本農学会シンポジウム(10月3日)が開催予定である。

12. 入退会の報告(平成27年1月16日～平成27年2月28日)

- ・入退会が承認された。入会は正会員12名、学生会員9名。退会は正会員17名、学生会員1名、海外会員2名。

13. その他

なし

平成27年度第1回常任評議員会議事録

日 時：平成27年5月16日(土) 13:30～16:50

場 所：日本植物防疫協会 地下会議室

出席者：会長，副会長，常任評議員 計15名

議 事：

I. 平成26年度第6回常任評議員会議事録について確認した。

II. 経過報告および議事

1. 財務関係

- ・平成27年度収支の現状(1月1日から5月12日まで)について報告があった。
- ・平成27年度から試験的に実施する外部監査は日本植物防疫協会が依頼している会計士に委託予定である旨説明があった。

2. 編集委員会

- ・第1回常任編集委員会を5月9日に開催したことが報告された。
- ・和文誌第40巻2号発刊の準備について報告があった。
- ・論文賞の推薦依頼を6月に開始する旨，説明があった。
- ・功労賞，終身会員の紹介記事を掲載することが決定された。
- ・BioMed Central/Springerのオープンアクセスについて説明があった。

3. 環境委員会

- ・平成27年度の活動状況について説明があった。
- ・平成27年度も2回の残留農薬分析セミナーを開催予定である旨説明があった。
- ・講師派遣について説明があった。
- ・農薬理解推進WGの活動状況について報告があった。

4. 将来計画委員会

- ・活動状況について説明があった。

5. ホームページ委員会

- ・活動状況について報告があった。
- ・40周年を機にウェブページのスタイルの刷新することが提案され承認された。経費はホームページ管理費から支出する。

6. 学会賞受賞者選考委員会

- ・平成28年度学会賞の選考スケジュールについて説明があった。
- ・日本農学賞，日本農学進歩賞の候補者推薦方法について議論された。

7. 技術士育成推進委員会

- ・ホームページに本年度の試験スケジュールと昨年度の合格者について掲載している旨の説明があった。

8. 日本昆虫科学連合

- ・平成27年度からは宮下常任評議員が担当することが決まった。

9. 日本植物保護科学連合

- ・5学会の相互交流を促進させていく旨の説明があった。
- ・植物化学調節学会と日本雑草学会の大会での相互乗り入れについて，毎年自動更新する覚書を締結することが承認された。

10. 日本農学会関連報告

- ・日本農学会平成27年度第1回運営委員会の報告があった。
- ・平成27年度日本農学会シンポジウム「国際土壌年2015と農学研究—社会と命と環境をつなぐ—」は10月3日に開催予定である。

11. 公益財団法人農学会関連報告

- ・農学会技術者教育推進委員会のシンポジウム「農学教育の未来ビジョン」が10月12日に開催されることが報告された。

12. 第40回大会関係

- ・第40回大会の収支について報告があった。

13. 40周年記念事業について

- ・40周年記念事業の収支経過について報告があった。
- ・学会出版物のアーカイブ化について検討した。
- ・和文誌への名誉会員等からの寄稿依頼について検討した。

14. 研究会の後援・協賛について

- ・平成27年6月27日(土)に東京大学弥生講堂(東京都文京区)で開催予定の平成27年度JABEE農学系分野審査講習会を協賛することを承認した。
- ・平成27年9月27日～29日に新潟日報メディアシップ(新潟県新潟市)で開催予定の第43回構造活性相関シンポジウム・第10回薬物の分子設計と開発に関する日中合同シンポジウムを後援することを承認した。
- ・平成27年11月5日～6日に島津製作所東京支社(東京都千代田区)で開催予定の第56回機器分析講習会を協賛することを承認した。

15. 国際会議関係

- ・国際植物保護科学会(IAPPS)東アジア地域センター運営委員会は森山常任評議員が担当することが決まった。

16. 専門委員・学術小集会委員について

- ・各専門委員会委員が承認された。
- ・各学術小集会委員が確認された。

17. 入退会の報告(平成27年3月1日～平成27年4月30日)

- ・入退会が承認された。入会は正会員3名，学生会員

1名。退会は終身会員1名，正会員7名。

18. その他
なし

日本農薬学会第40回記念大会報告

日本農薬学会第40回記念大会は去る3月18日（水）～20日（金）の間，玉川学園講堂および視聴覚センターにおいて開催されました。正会員，名誉会員，終身会員，維持会員，学生会員に加え，関連学会の方々（日本応用動物昆虫学会・日本植物病理学会・日本雑草学会・植物化学調節学会）や非会員の方々（141名）の参加があり，参加者総数は約560名を数えました。

初日は午前中の総会に引き続き，学会賞受賞式（奨励賞・業績賞・功労賞），受賞者講演（業績賞2題）が行われ，午後は40周年記念行事として記念式典が開催され，個人・団体への感謝状贈呈（29件）および記念講演会（3題）が行われました。夕刻からは小田急ホテルセンチュリー相模大野に会場を移して記念祝賀会が行われました。学会賞受賞者の方々を約330名の参加者で華やかに祝いし，また，40周年を迎えた日本農薬学会のさらなる発展を祈念いたしました。

第2日目，第3日目はそれぞれ学会賞受賞講演（奨励賞2題），特別講演（1題）から始まり，一般講演（103題），シンポジウム（2題）および昼食時には会場を変えてランチョンセミナー（6件）が行われ，いずれの会場も大勢の参加者により活発な議論がなされました。最終日まで各会場が多量の参加者で盛況であったことは大変嬉しいことでした。

節目となります第40回記念大会を成功裏に終えることができました。ご協力を賜りました参加者各位，特別講演やシンポジウム講演をお引き受けいただいた方々，ならびにご支援を賜りました企業各社に厚くお礼申し上げます。最後に大会運営を支えていただいた組織委員各位，学生諸君に心からお礼申し上げます。

日本農薬学会第40回記念大会 組織委員会委員長
佐藤幸治（玉川大学）



写真1 平成27年度学会賞受賞者（前列右端は浅見会長）



写真2 感謝状贈呈者（後列右端は浅見会長）



写真3 特別講演会場

日本農業学会第40回記念大会 収支報告書

科目	金額 (円)	備考		
収入の部				
大会参加費	2,805,000	有料参加者数	大会	懇親会
懇親会参加費	1,850,000	正会員	265	168
		非会員	141	47
		学生会員	28	10
		合計	434	225
講演要旨集	27,000	9冊		
広告収入	310,000	7件		
企業展示開催費	450,000	9件		
ランチョンセミナー開催費	1,500,000	6件 (弁当代含)		
農業学会	272,000	40周年記念 (懇親会招待 27名)		
雑収入	69	預金利息		
収入合計	7,214,069			
支出の部				
大会運営費	394,200	会場設営, 機材, 看板等		
講演要旨集等印刷代	374,208	要旨集 650部, 封筒 500部		
懇親会費	3,058,550	総会当日 (3/18)		
懇親会会場へのタクシー代	34,950	12台		
事前申込システム管理費	515,080	トップツアー		
弁当代	617,000	大会スタッフ, ランチョンセミナー		
謝金・旅費	265,120	シンポジウム講師		
通信・郵送費	8,776			
運営委員会経費	347,899			
アルバイト雇用費	820,000	53名		
過払者への返金	10,000	正会員2名		
学内関係部署謝礼	38,577			
雑支出	4,320	振込手数料 (計12件)・両替手数料		
支出合計	6,488,680			
収支差額	725,389			

※全残額1,575,389円 (農業学会準備金850,000円を含む) を学会へ返金

会 員 異 動

(平成27年1月16日～平成27年4月30日)

小石 原暉 Indra Purnama 竹谷 隆良 松浦 麻衣
志野真実子 吉田 裕史 Ayman Saber

(受付順)

入 会

正会員

畠山 誉史 渡辺 京子 足立 香代 中島 典行
藤松 益男 渡邊美奈恵 宮崎 洋輔 秋場 高司
岡本 敏 杉山 恵乃 服部 涼子 引戸 充
小倉里江子 阿久津和彦 Malhat Farag

学生会員

Piyanuch Jaikaew 石塚 千遥 山田 直子

退 会

終身会員

荒木 隆男

正会員

秋 尚子 安藤 直子 有田 洋一 伏原 忍
直原 哲夫 中村 憲治 鈴木 潤 児玉基一郎
松澤 章彦 大谷 隆太 宮下 基

Jachmann Markus 井上 朋子 大沼 一富
 真家 浩彰 鈴木 岳 佐々木太洋 久保山信弘
 佐野 雅宣 市川 滋宏 鈴木 達也 井上 浩輔
 高宮 真美 井上 知美
学生会員
 上杉 明里
海外会員
 Sohnkee Seo Sunyo Jung

「技術士」資格取得のお勧め

「技術士」とは、「技術士法」に基づいて行われる国家試験（「技術士第二次試験」）に合格し、登録した人に与えられる称号であり、国はこの称号を与えることにより、その人が科学技術に関する高度な応用能力を備えていることを認定しています。

技術士は、「技術士」の名称を用いて、科学技術の高度な専門的応用能力を必要とする事項について、計画、研究、設計、分析、試験、評価又はこれらに関する指導業務を行う者をいいます。（文部科学省より）

技術士には21の部門があり、農業部門には「畜産」「農芸化学」「農業土木」「農業及び蚕糸」「農村地域計画」「農村環境」に加えて、平成16年度から「植物保護」が新設されました。

日本農薬学会はこれを受けて、日本植物病理学会、日本応用動物昆虫学会、日本雑草学会、植物化学調節学会などと連携して、「技術士に関する委員会」を設置し、学会員の技術士（農業部門・植物保護）の国家資格の取得推進を目指して活動を行ってきました。そして平成20年4月からは名称を「技術士育成推進委員会」に変更して、技術士（農業部門・植物保護）の育成と社会での活躍を支援しています。会員の皆様には、技術士試験に積極的にチャレンジしていただき、本学会から多くの技術士が誕生することを期待しています。

技術士合格者

平成26年度には新たに12名のかたが技術士第二次試験（農業部門・植物保護）に見事合格され、延べ合格者数は94名となりました。

平成27年度の技術士第一次試験は、平成27年10月12日（月・祝）に行われます。技術士第二次試験は、既に平成27年7月19日（日）に行われていますが、毎年一回、実施されます。試験に関する詳細は日本技術士会のホームページ（<https://www.engineer.or.jp/>）をご覧ください。

〈参考〉

（はじめに）

平成16年4月1日、技術士（農業部門・植物保護）が誕生

した。それ以来、日本農薬学会、日本植物病理学会、日本応用動物昆虫学会、日本雑草学会、植物化学調節学会は委員会を設置し、技術士試験の受験奨励を行うとともに技術士（農業部門・植物保護）の社会での活躍の促進について積極的に取り組んできた。技術士（農業部門・植物保護）が社会で活躍するに当たり、どのような知識、技術を有する必要があるのか具体的に検討し、以下のように取りまとめた。これらの事項を習得した技術士（農業部門・植物保護）が社会で活躍し貢献することを期待する。

（技術士の資質と責務）

- 食料、農業、農村に関する幅広い知識
- 植物（作物・樹木等）の病害、虫害、雑草の診断や同定に関する知識と技術
- 病害、害虫、雑草の発生生態と防除に関する知識と技術
- 病害、害虫、雑草の総合防除等に関する知識と技術
- 農薬取締法、農薬登録のしくみ、農薬の安全性に関する知識
- 農薬の種類、作用機構に関する知識
- 農薬の使用方法に関する知識と技術
- 作物の栽培・生産・貯蔵に関する知識と技術
- 遺伝子組換え技術に関する知識
- 食品の安全に関する知識
- 環境保全に関する知識
- 日本技術士会が定めた技術士倫理要綱および技術士ビジョン21に記載されている技術士の倫理や役割・義務・責任の遵守。

（技術士育成推進委員会）

日本農薬学会、日本植物病理学会、日本応用動物昆虫学会、日本雑草学会、植物化学調節学会の5学会が設置した委員会である。

学会関連カレンダー

太字は日本農薬学会が主催、共催、協賛する会議等

2015年

8月

24日（月）～27日（木）第18回国際植物保護会議（IPPC: International Plant Protection Congress）

主 催：国際植物保護科学会（IAPPS: International Association for the Plant Protection Sciences）

会 場：Free University Berlin [Garystraße 35 14195 Berlin-Dahlem/Germany]

U R L：http://www.ippc2015.de/

9月

8日(火) 残留農薬分析セミナー 2015 (関西)

主催：日本農薬学会

会場：近畿大学農学部 [〒631-8505 奈良県奈良市中町
3327-204]

U R L : <http://www.pssj2.jp/overview/z-sem15.html>

16日(水) 第30回報農会シンポジウム『植物保護ハイビジョン—2015』のご案内 —シンポジウム第30回の節目に立ってみる“過去・現在・未来”—

主催：公益財団法人 報農会

会場：「北とびあ」つつじホール [〒114-8503 東京都北区王子1-11-1]

U R L : <http://www.honokai.org>

27日(日)~29日(火) 第43回構造活性相関シンポジウム

主催：日本薬学会 構造活性相関部会

会場：新潟日報メディアシップ 日報ホール [〒950-0088 新潟県新潟市中央区万代3-1-1]

U R L : http://www.nupals.ac.jp/~sar_symp2015/

10月

15日(木)~16日(金) 第38回農薬残留分析研究会・第33回農薬環境科学研究会合同開催案内

主催：日本農薬学会 農薬残留分析研究会・農薬環境科学研究会

会場：名鉄犬山ホテル [〒484-0082 愛知県犬山市犬山北古券107-1]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/zanryu/zanry38.html>

15日(木)~16日(金) 第35回農薬製剤・施用法研究会

主催：日本農薬学会 農薬製剤・施用法研究会

会場：つくば国際会議場 [〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-3]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/seizai/seizai35.html>

21日(水) 残留農薬分析セミナー 2015 (関東)

主催：日本農薬学会

会場：明治薬科大学剛堂会館 [〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-27]

U R L : <http://www.pssj2.jp/overview/z-sem15.html>

23日(土)~25日(日) 植物化学調節学会第50回記念大会

主催：植物化学調節学会

会場：東京大学弥生講堂 [〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1]

U R L : <http://www.jscrip.jp/calendar/years>

11月

5日(木)~6日(金) 第56回機器分析講習会 第3コース

主催：日本分析化学会関東支部

会場：島津製作所東京支社 [〒101-8448 東京都千代田区神田錦町1-3]

U R L : <http://www.jsac.jp/~kanto/seminor/kiki/2015kiki56-3.htm>

12日(木) 第29回農薬デザイン研究会

主催：日本農薬学会 農薬デザイン研究会

会場：メルパルク京都 [〒600-8216 京都府京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町676番13]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/design.html>

19日(木)~20日(金) 第15回糸状菌分子生物学コンファレンス

主催：糸状菌分子生物学研究会

会場：ルミエール府中 [〒183-0055 東京都府中市府中町2-24]

U R L : http://www.biochem.osakafu-u.ac.jp/~fmbsj/conference_j/15thconf_j/15thconf_j.html

12月

15日(火)~20日(日) Pacificchem 2015 (The 2015 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies)

主催：The American Chemical Society (host society)

会場：Sheraton Waikiki Hotel [2490 Kalakaua Avenue Honolulu Hawaii 96815,USA]

U R L : <http://www.pacificchem.org>

2016年

3月

17日(水)~19日(金) 日本農薬学会第41回大会

主催：日本農薬学会

会場：島根大学 [〒690-8504 島根県松江市西川津町1060]

U R L : <http://pssj2.jp/congresses/thisyear.html>

6月

20日(月)~24日(金) 11th International Symposium on Adjuvants for Agrochemicals (ISAA 2016)

主催：International Society for Agrochemical Adjuvants

会場：Monterey Conference Center [One Portola Plaza Monterey, CA 93940]

U R L : <http://events.isaa-online.org/page/269/welcome-to-isaa-2016.html>

学会主催会議等の詳細

残留農薬分析セミナー 2015

【関西】

主 催：日本農薬学会
日 時：平成27年9月8日（火）10時～17時
会 場：近畿大学農学部 [〒631-8505 奈良県奈良市中町
3327-204]

U R L：http://www.pssj2.jp/overview/z-sem15.html
定 員：16名まで（先着順，最終申込締切：9月1日，開催
当日での申込・参加はできません）

内 容：（予定 プログラムの詳細は後日更新します）

- 1) 残留農薬分析に係る法律と背景
- 2) 残留農薬分析の概要と留意点
- 3) 前処理ミニカラムの最適化の考え方と上手な使い方
- 4) 残留農薬分析実験の内容と進め方
- 5) 残留農薬分析実験（実習）
「初心者を対象にした残留農薬分析法検討会による農
薬等ポジティブリスト制対応法のGC-MSによる試験
法」と「ドライアイス冷凍粉碎法の実演」
- 6) 総合討論

【関東】

21日（水）残留農薬分析セミナー 2015（関東）

主 催：日本農薬学会
日 時：平成27年10月21日（水）10時～17時
会 場：明治薬科大学剛堂会館 [〒102-0094 東京都千代
田区紀尾井町3-27]

U R L：http://www.pssj2.jp/overview/z-sem15.html
定 員：36名まで（先着順，最終申込締切：9月1日，開催
当日での申込・参加はできません）

内 容：（予定 プログラムの詳細は後日更新します）

- 1) 残留農薬分析に係る法律と背景
- 2) 残留農薬分析の概要と留意点
- 3) 残留農薬分析に関するグループ討議
- 4) 総合討論

参加費：

関西：学会員 10,000円 非会員 23,000円
学 生 5,000円
関東：学会員 5,000円 非会員 15,000円
学 生 2,000円

ご参加の際には，関西では実技ができる服装のご準備をお
願いします。なお，関東における参加は平服で構いません。

参加申込み・問い合わせ先：

日本農薬学会宛に、『参加希望開催日と場所，氏名，所属，
連絡先（E-mail アドレス，TEL 番号，FAX 番号），本分析
セミナーへの参加回数（はっきりしない場合には，おおよ

その数で構いません）』をご連絡ください。

日本農薬学会 E-mail: nouyaku@mocha.ocn.ne.jp
FAX: 03-5980-0282

第38回農薬残留分析研究会・
第33回農薬環境科学研究会
（合同開催）

主 催：日本農薬学会 農薬残留分析研究会 農薬残留分析
研究会

日 時：平成27年10月15日（木）～16日（金）
会 場：名鉄犬山ホテル [〒484-0082 愛知県犬山市犬山
北古券107-1]
TEL: 0568-61-2211

http://www.m-inuyama-h.co.jp/

交 通：名鉄「犬山遊園」駅より徒歩8分（名鉄名古屋駅か
ら犬山遊園駅まで28分）

U R L：http://pssj2.jp/committee/zanryu/zanry38.html
http://pssj2.jp/committee/kankyo/kanky33.html

テーマ：広い視点で考えよう 農薬を取り巻く諸問題

概 要：

平成27年度は，農薬残留問題について，農薬使用，環境
動態，農薬残留の実態調査，分析法の検討と結果の評価な
ど，広い視点から捉えるため，第38回農薬残留分析研究会
と第33回農薬環境科学研究会を合同開催することで，議論
を深めます。なお，今回の合同研究会のシンポジウムにおい
ては，通常の学術発表の他，下記の専門家の皆様にご講演頂
き最新情報をご提供頂く他，分析技術セミナー（昼食付，大
会2日PM 3:00頃終了予定）を開催します。

プログラム：

- 1) 土壌残留性試験に関する話題（土壌残留ガイドライン
等の改訂情報など）
中村 直紀（公益財団法人日本植物調節剤研究協会）
- 2) 急性参照用量（ARfD）に関する話題
吉田 緑（国立医薬品食品衛生研究所）
- 3) 後作物残留に関する話題（環境省における調査事例な
ど）
清家 伸康（国立研究開発法人農業環境技術研究所）
- 4) 「知の拠点あいち」における農薬残留分析関連の話題
上野 英二（愛知県衛生研究所）
- 5) 愛知県における最近の病害虫の発生状況と防除の取り組
み
愛知県農業総合試験場関係者
- 6) その他：農薬残留分析ならびに環境科学関連の研究発
表

参加費（事前申し込み）：

農薬学会員 5,000円 非会員 8,000円 学生 2,000円
情報交換会 8,000円
分析技術セミナー 2,000円

参加申込み：

参加申込書（ホームページからWordファイルをダウンロード）に必要事項を入力の上、メールもしくはFAXにて合同研究会受付担当（E-mail: iijima@iet.or.jp, FAX: 0297-27-4516）宛にお申込みください。受付後、確認メールが返信されます。

※参加申し込みの期限は、8月31日（月）です（振込期限は9月末）。事前申し込みの期日を過ぎると当日受付扱いになります。（当日受付：会員 7,000円、非会員 10,000円）。

宿泊先：

名鉄犬山ホテル。参加申込書にてお申し込みください（宿泊費：8,000円）。宿泊斡旋は相部屋のみで、個室の宿泊斡旋は致しませんので、個室宿泊希望の場合は、各自にて会場または周辺ホテルを御予約ください。

問い合わせ先：

農薬環境科学研究会代表

名城大学農学部生物環境科学科 村野 宏達

TEL: 052-838-2437（内）6261

E-mail: murano@meijo-u.ac.jp

農薬残留分析研究会代表

一般財団法人残留農薬研究所 飯島 和昭

TEL: 0297-27-4516（ダイヤルイン）

FAX: 0297-27-4517

E-mail: iijima@iet.or.jp

第35回農薬製剤・施用法研究会

主催：日本農薬学会 農薬製剤・施用法研究会

共催：農業食料工学会，日本雑草学会，粉体工学会，日本化学会，高分子学会，色材協会，日本油化学会

日時：平成27年10月15日（木）13:00～16日（金）16:00頃

会場：つくば国際会議場 [〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-3]

（つくばエクスプレスつくば駅A3出口より徒歩10分）

TEL: 029-861-0001 FAX: 029-861-1209

<http://www.epochal.or.jp/>

交通：つくばエクスプレスつくば駅A3出口徒歩10分

URL：<http://pssj2.jp/committee/seizai/seizai35.html>

プログラム：

10月15日 13:00～17:30

（特別講演1）「日本における作業安全性評価の現状と課題」
松井 美樹（農林水産省 消費・安全局

農産安全管理課）

（特別講演2）「Application Technology in EU/Global (low water volume application, drift less nozzle, etc.)」

Reinhard Friessleben (Bayer CropScience AG/Application Technology)

〈懇親会 18:00～20:00〉

10月16日 9:30～16:00

（特別講演3）「農薬等の田植同時施用技術の現状と今後の展望について（仮）」

小林 鑑明（(株)クボタ 移植機技術部 第1チーム長）

（特別講演4）「我が国における生物農薬開発の現状（仮）」

藤田 俊一（(社)日本植物防疫協会 業務執行理事）

参加費：

7月1日～当日参加申込みの通常料金

20,000円（内 研究会費 13,000円、懇親会費 7,000円）

尚、一日のみの参加、及び懇親会の参加有無にかかわらず、参加料金は一律（研究会費＋懇親会費）です。（振込手数料につきましては別途負担となります。）

参加申込方法：

所定の「参加申込書」をホームページからダウンロードし、所属、氏名（フリガナ）、連絡先等の必要事項を明記の上、E-mail、ファックスまたは郵送で下記にお申込み下さい。なお、発送事務等の省力化のため、会社・事業所・研究機関等の単位で代表者を取りまとめる上、一括してお申込み下さるようお願い致します。大会運営の都合上定員になり次第、締め切らせていただきますので、お早目の申込みをお願いします。

申込み先：

東邦化学工業(株) 追浜研究所 農業助剤研究室内

第35回 農薬製剤・施用法シンポジウム事務局

参加申込担当 種 和彦

〒237-0062 神奈川県横須賀市浦郷町5-2931

TEL: 046-866-5736 FAX: 046-866-5731

E-mail: seizaisympo@toho-chem.co.jp

参加費振込：

参加申し込み後は、下記、振り込み口座に参加費をお早めに振り込み頂きますようお願い致します。尚、一度振り込まれました分は返金できませんのであらかじめご了承下さい。ご入金確認後に、折り返し参加確認および参加費振込確認を送付致します。「参加申込書」（研究会ホームページからダウンロード）にてお受け取り方法（E-mail、郵送又はFAX）をご指定ください。なお、参加申込・入金確認書をもって領収書とさせていただきます。

振込先：三菱東京UFJ銀行 駒込支店（店番号061）
普通 口座番号：0020365
口座名：農薬製剤施用法研究会（ノウヤクセイ
ザイ セヨウホウ ケンキュウカイ）

技術研究発表・ポスターセッション申込み：

終了しました。

宿泊等：

事務局での宿泊手配は行っておりません。つくば駅周辺の
ホテルにつきましてはつくば国際会議場のホームページ
(<http://www.epochal.or.jp/>) に会議場周辺のホテルの宿泊ガ
イドがございますのでご参照ください。早めの宿泊予約をお
奨めします。

事務局：

[第35回 農薬製剤・施用法シンポジウム問い合わせ先]

[参加申込、参加費に関するお問い合わせ]

東邦化学工業(株) 追浜研究所 農薬助剤研究室内
第35回 農薬製剤・施用法シンポジウム事務局
参加申込担当
種 和彦 宛

〒237-0062 神奈川県横須賀市浦郷町5-2931

TEL: 046-866-5736 FAX: 046-866-5731

E-mail: seizaisympo@toho-chem.co.jp

[技術研究発表及びプログラムに関するお問い合わせ]

日産化学工業(株)物質科学研究所内

第35回 農薬製剤・施用法シンポジウム事務局

技術研究発表担当

釜谷 拓和 宛

〒274-0069 千葉県船橋市坪井西2-10-1

TEL: 047-465-1116 FAX: 047-467-5307

E-mail: seizaisympo@nissanchem.co.jp

[その他、シンポジウム全般に関する問い合わせ]

上記の種 和彦宛または釜谷 拓和宛にお願いします。

第30回農薬デザイン研究会

主 催：日本農薬学会 農薬デザイン研究会

日 時：平成27年11月12日(木) 11:00～(受付は10:00から)

会 場：メルパルク京都〔〒600-8216 京都府京都市下京
区東洞院通七条下ル東塩小路町676番13〕

TEL: 075-352-7444 FAX: 075-352-7390

<http://www.mielparque.jp/kyoto/>

交 通：JR京都駅（烏丸中央口）より徒歩1分

定 員：120名

テーマ：環境調和を志向した農薬デザイン

U R L： <http://pssj2.jp/committee/design/design30.html>

プログラム：

10:00～ 受付

11:00～11:10 開会の挨拶

11:10～12:00 講演1「創薬とケミカルライブラリー」

木村 陽一（第一三共RDノバーレ株式
会社）

12:00～13:20 昼休み

13:20～14:10 講演2「官能基の活性化および保護化フ
リーのプロセスを可能とする直接的触媒反
応の開発」

大嶋 孝志（九州大学大学院薬学研究
院）

14:10～15:00 講演3「植物の力、昆虫の力、化学の力」

金 哲史（高知大学大学院総合人間自
然科学研究科）

15:00～15:20 休憩、ポスター発表準備

15:20～15:55 講演4「イソフェタミドの創製研究（仮題）」

中村 裕治（石原産業株式会社中央研究
所）

16:00～16:40 ポスターショートプレゼンテーション

16:40～17:40 ポスターセッション

17:50～19:50 懇親会

19:50～20:00 閉会の挨拶

ポスター発表：

合成、生物活性、構造活性相関を中心に農薬研究／開発に
関わるポスター発表を募集します。

ポスター発表申込み：

発表演題（氏名と所属を明記）と要旨（A4、1枚、Word
ファイル及びPDFファイル）をE-mailにてお送りくださ
い。平成27年8月28日（金）締め切り。

※優れた発表にはポスター賞を贈呈いたします（学生対
象）。奮ってご参加ください。

※尚、ポスター発表者にはショートレビューをお願いいた
します。詳細は締め切り後、発表者に直接ご連絡いたし
ます。

参加登録費：

（要旨集、懇親会費を含む）

一般 15,000円（非会員20,000円）

公的研究機関 10,000円（非会員15,000円）

学生会員 3,000円（非会員 5,000円）

参加申し込み締め切り：

平成27年10月2日（金）

申し込み方法：

官製はがき、FAXまたはE-mailで氏、所属、連絡先（住
所、電話番号、FAX、E-mail）及び会員、非会員の別、懇
親会の出欠を明記し、下記にお申し込みください。

申し込み先：

第30回農業デザイン研究会事務局
石原産業株式会社中央研究所創薬科学研究室 塚本 正満
〒525-0025 滋賀県草津市西渋川2-3-1
TEL: 077-562-8804 FAX: 077-562-9019
E-mail: design@iskweb.co.jp

送金方法：

参加登録費は下記口座に申し込み締め切り前にご入金ください。
東京三菱UFJ銀行草津支店（店番：452）

口座番号：0293729

口座名義：塚本正満（ツカモト マサミツ）

※同一の公的機関、企業名で複数名参加のときは、全員の所属、氏名を明記の上、1枚の振込用紙にまとめてご送金ください。尚、勝手ながら振込用紙の控えをもって領収書とさせていただきます。

※申し込み締め切り後のキャンセルは受付いたしかねますので、ご了解ください。

※ご不明な点がありましたら事務局までE-mailにてお問い合わせください。

日本農業学会第41回大会における広告、展示および ランチョンセミナー募集のご案内

日本農業学会第41回大会が下記の日程・会場で開催されます。つきましては、講演要旨集への広告の掲載、展示会への出展、およびランチョンセミナーの開催等でご支援を賜りたいと考えております。各応募の詳細および申込先等につきましては学会ホームページ（<http://pssj2.jp/congresses/thisyear.html>）に掲載しています。本大会の成功のために、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

日 程：平成28年3月17日（木）～3月19日（土）

会 場：島根県立産業交流会館（くにびきメッセ）、島根大学松江キャンパス（大学ホール、教養講義室棟）

日本農業学会第41回大会組織委員会委員長
島根大学生物資源科学部
尾添嘉久

今夏の花火大会は順調である。初夏まで観測史上最速のペースで発生した台風も7月下旬以降の襲来はなく、花火や祭りは予定通りの地域が多い。そのお陰もあって、初夏までの天候不順で心配されたコメの作況予想も南日本を除いて例年並みとなった。各地での猛暑記録の更新はコメにも困りものだが、風雨で倒伏した稲穂も痛々しい。天候に抗う技術が非力な現在、このまま収穫を迎えるのを祈りたい。

今号には、次回大会関係のお知らせのほか、秋以降の注目すべき研究集会やセミナーの案内があるので参照されたい。

発行所：日本農業学会

〒114-0015 東京都北区中里2-28-10

一般社団法人日本植物防疫協会内

TEL: 03(5980)0281 FAX: 03(5980)0282

E-mail: nouyaku@mocha.ocn.ne.jp